

令和 8 年度 第 1 回学校運営協議会 議事録

日時：令和 8 年 6 月 22 日（月） 15：20～ 16：40

※14：20～15：10 に授業見学を実施

場所：校長室

出席者：

学校運営協議員（敬称略）：

佛教大学	教授	大束	貢生
追手門学院大学	教授	松宮	新吾
寝屋川市立第六中学校	校長	箕輪	理恵
寝屋川地域教育協議会	会長	上原	順子
社会福祉法人大阪誠昭会	理事長	田中	啓昭
大阪府立北かわち阜が丘高等学校	P T A 会長	雲川	真美

本校：

伊藤校長、辻教頭、中川事務長、岩田首席、井上首席、泉井教諭

協議会に先立って、6 限目の授業見学（14：20～15：10）を実施

（15：20 より開始）

1 開会

規定により参加人数の確認を行い、開会した。

2 学校長挨拶

3 参加者自己紹介

4 会長選出

会長、副会長を次の通り選出。（敬称略）

会長	大束	貢生	
副会長	松宮	新吾	<u>承認</u>

5 連絡・報告事項

連絡・報告 3 令和 7 年度の状況（進路・生徒指導・保健関係）

都合により、連絡・報告 3 の進路関係のみ前倒しで実施

（1）進路指導について

①昨年度の進路結果の説明。

卒業 220 名 うち、進学者 206 名（四大 113 名、短大 21 名、専門 72 名）
就職者 10 名、他 4 名

②進学希望者の様子

多岐にわたるジャンルを希望しているため、指導方針は、第一志望を重視する。
例年は、2 年生の 1 月には進路決定の道筋をつけて指導している。

連絡・報告 1 令和 7 年度学校評価について

令和 7 年度学校評価の内容について再度確認（令和 7 年度第 3 回学校運営協議会にて承認済であるため、内容を再確認し、課題を整理）

- ・家庭学習をしている人数が少ない状況がある
- ・探究活動について課題設定の仕方も含めて再構築が必要
- ・部活動加入率が低下傾向にあり、生徒の居場所の一つとして充実が必要（事務局より）

→部活動加入率低下については、中学校の部活動が地域に移行しているのも大きい。クラブチームでの活動に移行し、かつ中体連自体も大会を縮小している現状が影響している。

- ・学校現場が忙しくなることで、教育活動そのものを議論する機会が減少している。

内容を承認

連絡・報告 2 令和 8 年度学校経営計画について

令和 7 年度第 3 回学校運営協議会にて承認いただいた内容に大きな変更がないことを確認。前年度に承認いただいた内容を元に、今年度は進めていくことを確認。

- ・総合的な探究の時間での探究活動のみならず、各教科の授業における知識を元に、その知識を教科横断的に、どのように活用していくかを進めるため、教科でも探究的な学びが必要になっている。
- ・総合的な探究の時間については、昨年度より大学生に来校頂き、プレゼンをしていただいたが、今後さらに内容を深め、大学生、高校生双方にメリットがある内容に変えていく必要がある。令和 9 年度には、新しい形にする方向で調整する。
- ・学校行事の運営等においては、生徒が自主的・主体的に考えて活躍できるかが課題であり、今後は生徒が活躍できる環境を整えていきたい。
- ・人権教育については、今後在籍する 3 年間を見通して計画的に 3 年計画で実施していく必要があり、今後内容を精査して、道筋を作っていくことを考えていく。
- ・課題を抱える生徒については、相談機能を充実させ、いろいろな課題を持つ生徒に柔軟に対応している。また、状況によりスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して取り組んでいく。
- ・2 つの専門コースを設置している。各専門コースについては専門性を踏まえながら、それぞれの興味・関心を惹くことができる内容へと改編していくことが必要と考えている。
- ・働き方改革については、部活動指導による勤務超過が多くなっている。また、会議等の精選を行いながら、今後に対応していく。
- ・危機管理体制について、今般気象警報等が変更されたことに伴い、本校でも対応を変更した。

内容を承認

連絡・報告 3 令和 7 年度の状況（生徒指導・保健関係）

（2）生徒指導について

- ・遅刻者数は減少傾向であるが、遅刻した背景まで追う必要あり。
- ・今年度の懲戒状況は 2 件（校外 2 件、校内 0 件）。
- ・90%以上の生徒が自転車通学であるが、事故発生時の報告数が少ない。

（3）保健関係について

- ・生徒が利用しやすい環境を作れていた。

連絡・報告 4 教科書の採択について

- ・各担当教員によって慎重に採択された。

※次年度採択予定の教科書について、全教科の見本を閲覧いただく。決定は7月になるため、第2回で報告予定。

連絡・報告 5 20周年記念事業について

- ・令和9年度に20周年記念式典を実施予定。日時等は次の通り報告。

日時：令和9年12月17日（金）

場所：枚方市総合文化芸術センター（予定）

内容：①式典Ⅰ部 ②式典Ⅱ部（講演、芸術鑑賞）

方針：生徒による式典実施

- ・記念事業はあくまでも生徒のためになるように（既に食堂のリニューアルや人工芝、茶道室のエアコン設置等を実施済み（同窓会による事業））実施していく。

連絡・報告 6 姉妹校締結について

- ・韓国の宇成高等学校との姉妹校締結を進めている。
- ・英語でのコミュニケーションを中心とした交流を行う。
- ・今年度5月11日（月）に宇成高等学校の生徒158名（教員10名）が修学旅行の一環として来校済。
- ・次年度は本校からも宇成高等学校へ修学旅行で訪問予定。
- ・次年度も宇成高校の本校への訪問予定が同時期である。スポーツ交流（部活動）等も実施を計画できようよう調整が必要。今年度は、テスト1週間前の来校であり、放課後の活動はできなかったが、次年度は放課後の活動もできるように調整が必要。また、考査1週間前にかからないように調整する。
- ・7月21日・22日に韓国を訪問するので、7月22日（水）にも姉妹校締結予定。
- ・今後は、韓国の大学見学や希望者のみでのオンライン交流会を実施していきたい。また、夏季の短期留学も検討したい。

連絡・報告 7 令和10年度入試について

- ・変更点は「試験を3月1日実施」、「学校特色枠の導入」、「第2志望の導入」の3点。
- ・合否判定については、論理的な思考力を培う必要があるため、数学・理科は英語アドバンスドコースでも必須と考え、英語・数学・理科の学力検査を活用する。

連絡・報告 8 その他

- ・オンラインおよび通信制の単位認定ができるよう内規の整理を進めていく。

協議 意見交換

（1）分掌の改革について

- ・業務の偏りをなくすために、業務集約や再分配を行っていく必要がある。今後、形を作っていく。
- ・分掌は、生徒からの見え方にはあまり変更はなく、同じように見えているが、生徒が学校生活を送りやすくするために、どのように還元していくかが課題である。

(2) 部活動について

- ・地域移行について、現状の部活動に外部指導員がはいるのか、地域のクラブ等に教員が入っていくのか。

(事務局より)

→外部指導員はいくつかの部活動で雇用している。外部指導員と部活動指導員がいる。総合型地域スポーツクラブの位置づけが曖昧であるため、受け皿がない状態で、現状では中学校で地域移行が進んでいる。高校は、地域移行までは、なかなか進んでいかない。

- ・保護者目線では、部活動が学校に行くモチベーションになっていたのに、学校内で部活動がなくなるのは寂しい。

(事務局より)

→部活動を居場所としている生徒もいるため、上手く運用していく必要がある。

(3) 授業について

- ・授業は従来の一斉授業が多かった。
- ・上階に行くほど教室が暑く感じた。セーターやベストを着ている生徒もいた。
- ・手が動いていない生徒もいたので、先生方には授業を改善することを期待したい。

(4) 人権教育について

- ・人権に関する外部人材の登用等により、講師を呼び、テーマを決めて依頼することもある必要。
- ・次年度は、2年生の修学旅行で韓国を訪問する予定であるため、韓国・朝鮮文化について学ぶための巡検や探究活動を行う必要がある。

次回以降の予定確認

第2回学校運営協議会 11月19日(木)

第3回学校運営協議会 1月18日(月)